

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して過ごせるよう、活動やプログラムを工夫している。	保護者と子どものことについて情報共有をしたり、子どもの観察からその子に合った活動内容を考えるようにしている。	日々の療育を振り返りながら、その子に合った活動であるか精査していく。
2	職員は定期的に研修に参加し、専門知識や技術の習得に取り組んでいる。	継続して受けられる研修の確保や、個人で受けた研修を職員内で周知するなど、偏りのない情報が得られるようにしている。	勤務内で受けられるなど、研修を受けられやすい環境を整える。
3	作業療法士や言語聴覚士などの専門職と連携し、個々の発達や特性に応じた支援を行っている。	療育指導等から意見交換や支援内容の見直しを行っている。	一職員だけではなく、全職員が情報共有できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通所希望児童の希望回数の増と、利用者増の場合。	職員数が限られているので、利用児童の回数の確保が難しくなる。	事務など療育以外の時間の工夫で少し枠が広がる可能性があるが現実的ではない。
2			
3			